



8/1

繁盛じゃおまへんか

酒田湊甚句流しが行われ、踊り手2,520人が参加。中心市街地周辺の踊り巡行コースには約15,000人の観客が詰めかけ、拍手や声援を送りました。午後8時30分からはS-JINKが披露され、参加した団体ごとに練習を重ねた踊りを披露しました。

ズームアップ!さかた Zoom up

私の街さかた。あの日あの時。

8/9

街かどコンサート

マリン5清水屋1階エントランスを会場に、酒田希望音楽祭2014第8回街かどコンサートが開催されました。参加した12団体による合唱や管弦楽演奏、バンド演奏などが披露され、訪れた市民は真夏の中町に流れるハーモニーに耳を傾けていました。



8/7

庄内北部の定住自立圏形成を目指して

庄内北部定住自立圏形成推進会議が開催され、各市町の首長などが出席し、今後のスケジュールや協定内容を協議しました。庄内北部定住自立圏の形成とは、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町の区域に圏域として必要な都市機能や生活機能を確保し安心して暮らせるように、協定を結びさまざまな取り組みを行っていくものです。



8/11

酒田ふるさと観光大使に関根氏

株式会社資生堂 執行役員常務 関根近子氏に酒田ふるさと観光大使を引き受けていただくことになり、副市長から委嘱状が交付されました。今後、酒田をPRしていただくほか、観光や企業誘致などの情報提供などで協力していただくこととなります。

8/9~20

城下町まつやま「夏ものがたり」

松山地域において、まつやまナイトバザールと絵灯ろう展示が行われ、多くの市民が参加しました。



8/12~19

玉簾の滝ライトアップ

例年お盆の時期に合わせて開催されている、玉簾の滝ライトアップ。今年も多くの市民や帰省客などが訪れ、闇夜に浮かび上がる名瀑の姿を眺めていました。



8/14

八幡・平田の夏祭り

八幡地域の夏祭り、平田地域の庄内ひらた目ん玉夏まつりが開催されました。金魚のつかみどりや、盆踊り、花火の打ち上げなどが行われ、訪れた市民は夏の夜を満喫していました。



8/22

酒田の名産品デビュー

ホテルリッチ&ガーデン酒田で、新品種の枝豆「あねちゃまめ」と、枝豆の香りがするもち米「酒田まめほの香」のデビュー試食会が開催されました。今後、市の名産品として全国に向けて発信していく予定です。





7/26 眺海の森に響く歌声

松山地域の眺海の森野外ステージで、LIVE WORLD in眺海の森が開催されました。参加したバンドメンバーは、猛暑に負けじと熱い演奏を披露しました。



7/26 放水、はじめ!

消防署西分署で、一日消防士体験が行われ、32組の親子連れなどが参加しました。放水訓練や救助訓練などに臨んだ子どもたちは、いずれも真剣な表情で取り組んでいました。



7/8/30~4 姉妹都市との絆

姉妹都市ジェレズノゴルスク・イリムスキー市の使節団10人を迎え、両市の一層の相互理解と友好を深めました。ペルフィーロフ副市長を団長とする使節団一行は市役所表敬訪問、市内の企業見学後、甚句流しパレード・花火ショーなど酒田の夏を満喫しました。

7/26 港のにぎわい

海の日になみ酒田港本港地区で行われた「2014みなとオアシスマつり」。働く船の一般公開、カレーフェスタ、県内キャラクターとの撮影会、海の生き物タッチプール、浜焼きなどの催しでにぎわいました。

7/31 巨大迷路、グレードアップして再登場

総合文化センターに、今年も巨大迷路が出現しました。今年のテーマは「海」。高校生ボランティア「かざみどり」のメンバーなどが準備・製作した迷路に、今年も夏休み中の大勢の子どもたちが挑戦しました。

7/31 羽越本線90周年を記念して

開催中の山形DCの一環で、羽越本線開通90周年記念列車が、新潟県新潟市から本市まで運行されました。列車の到着を関係者や酒田舞娘などが出迎え、酒田駅に降り立った乗客には酒田の銘菓が振る舞われました。



7/31 少子化総合対策懇話会

人口減少の大きな要因である少子化問題への対策として、各ライフステージにおける支援活動の実践者による酒田市少子化総合対策懇話会を開催しました。懇話会での意見は今後の施策に反映されます。

◆詳しくは本紙特集(5ページ)をご覧ください。

